

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調查日時： 午前 ・ 午後 時

調査者氏名:

I) 建築物の概要

1. 建築物の所有者：
2. 建築物所在地：
3. 階数： 階建て

Ⅱ) 前提条件の確認(いずれも必須)

チェック欄

木造住宅である	
昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した	

Ⅲ) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

(1以上ある場合は倒壊の危険性があると判断)

建物全体	全体又は一部に崩壊がある	
	全体又は一部に傾斜や変形がある	
地盤・基礎	地盤沈下が生じている	
	基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である	
	基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる	
老朽・腐朽	柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる	
	柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる	

IV) 壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。

(イ) (ロ) (ハ) (ニ) (ホ)壁の割合

方向	壁の長さ(m)	建面(m ²)	イ／ロ	必要値	ハ／ニ
Ⅹ					
Ⅹ					

(イ) 壁の長さの合計

① X(横)方向

①

m

② Y(縦)方向

②

m

①②のうち小さいほうを記入してください。

イ

m

(ロ) 面積

ロ

m²

(ハ) 単位面積あたりの壁の長さ

イ

÷

ロ

=

ハ

(ニ) 必要な壁の長さ

ニ

m

下の表から該当するものを選んで記入してください。

階数 屋根の種類	平 家	2階建
軽い屋根 (鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等)	0.20	0.52
重い屋根 (かや葺・瓦葺等)	0.27	0.59

(ホ) 壁の割合

ハ

÷

ニ

=

ホ

IV)壁の割合 記入用紙

壁の長さの計測

The image shows a large grid for measuring wall length. The grid is composed of solid lines forming a 20x20 square pattern, with each square further divided into four smaller squares by dashed lines. In the bottom-left corner, a coordinate system is defined with a vertical arrow pointing upwards labeled 'Y方向' and a horizontal arrow pointing to the right labeled 'X方向'. A horizontal double-headed arrow between the Y-axis and the X-axis is labeled '1m', indicating the scale of the grid.